

●新刊図書紹介 (★はピックアップ図書)

図 書 名	著 者	出 版
議 会 ・ 地 方 自 治		
★ 議会の？がわかる本 住民と議員の議会運営12か月	田口 一博	中央文化社
通年議会の＜導入＞と＜廃止＞ 長崎県議会による全国初の取り組み	松島 完	公人の友社
市町村議員のためのわかりやすい地方債	満田 誉	中央文化社
自治体の議会事務局職員になったら読む本	香川純一・野村憲一	学陽書房
市町村議会広報クリニック 上巻	深沢徹・城市創	中央文化社
市町村議会広報クリニック 下巻	深沢徹・城市創	中央文化社
これだけは押さえておきたい！ 自治体の資金調達・運用の基礎知識	堀内 聡	ぎょうせい
ま ち づ く り		
★ 百年構想のある風景 スポーツ文化が国の成り立ちを変える	傍士 銃太	ベースボール・マガジン社
★ 地域の魅力を伝えるデザイン	齋藤 あきこ(編)	ビー・エヌ・エヌ新社
和 歌 山 コ ー ナ ー		
ニュース和歌山が伝えた半世紀	ニュース和歌山	ニュース和歌山
カラーでよむ「紀伊国名所図会」 城下町の風景	額田 雅裕(編)	ニュース和歌山
カラーでよむ「紀伊国名所図会」 和歌浦の風景	額田 雅裕(編)	ニュース和歌山
そ の 他		
開高健名言辞典 漂えど沈まず	滝田 誠一郎	小学館
スポーツライフ・データ2014 —スポーツライフに関する調査報告書—	笹川スポーツ財団	笹川スポーツ財団

もうすぐ400周年！

和歌祭

皆さんは今年の和歌祭を見に行かれましたか？

和歌祭は紀州東照宮の祭礼で、紀州藩主の徳川頼宣が父・家康の霊を祀るため、元和8年(1622)旧暦4月17日に始めたお祭りです。(4月17日は徳川家康の命日にあたります)



神輿おろし

当時の和歌祭は、陸上では鎧武者や雑賀踊りなど、紀州の武勇や紀州人の心意気を表現した「渡御行列」が、海上では「御閑船(おせきぶね)」と呼ばれる船が浮かべられ、海陸一体の盛大なお祭りであったといわれています。明治時代には、なんと日本三大祭の一つとして全国に知られていました。

現在の和歌祭は毎年5月に開催され、中でも白装束の男性が重さ1トン以上の神輿を担ぎ、108段もの石段を下る「神輿おろし」は圧巻で、毎年多くの見物客で賑わいます。そして、伝統芸能を披露しながら練り歩く「渡御行列」が今も行われています。

この「渡御行列」は、江戸時代、紀州徳川家を中心に各芸妓種目を受け持った家臣団が集まり、祭りの行列となったそうですが、なんとそこに土地の人々も無礼講で加わり、得意とする芸妓を披露することが許されていたのだそうです。

藩祭であるにもかかわらず、土地の人々も行列に参加できたとは少し驚きですが、臣民ともに藩一体となって盛り上がるという当時の熱気が伝わってくるように感じます。

現在でも一般の人が参加できる種目があるそうなので、ぜひ参加して当時の人の感覚を味わってみるのも面白いのではないのでしょうか。